

## 第8章 鎌倉市地球温暖化対策地域実行計画

### 1 温暖化緩和策

目標：二酸化炭素の排出量削減を推進し良好な生活環境を将来へ継承する。

◆目標達成するための指標

鎌倉市域における平成 42(2030)年度の二酸化炭素排出量を、平成 2(1990)年度に比べ 31%削減する。

#### 基本方針1 行動を変える省エネルギーの推進（ソフト面）

基本施策

- ① 市民、事業者、滞在者の省エネ行動の促進
- ② 市の率先行動の推進

主な事業	事業実績
省エネ等の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のカーテン栽培講座の実施（平成 28 年 6 月 3 日） 参加者 84 名</li> <li>・省エネナビ・エコワット貸し出し実績 省エネナビ 7 件、エコワット 5 件</li> <li>・省エネ関連パネル展 本庁舎ロビー（平成 28 年 6 月 6 日から 6 月 10 日） 鎌倉駅地下道ギャラリー（平成 28 年 6 月 14 日から 20 日） 本庁舎ロビー（平成 29 年 2 月 6 日から 2 月 10 日）</li> <li>・ライトダウンキャンペーン 平成 28 年 6 月 22 日及び 7 月 7 日 市役所本庁にて午後 8 時以降の消灯を実施した。</li> <li>・児童向け環境教育事業【らんま先生の eco 実験パフォーマンスショー】 の実施（平成 28 年 8 月 23 日） 参加者：市内在住学の小中学生 240 名</li> </ul>
エコアクション 21 の徹底	<p>環境マネジメント報告書にて取り組みに関する詳細を公表  <a href="https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankyo/hakusyo/h28hkk.html">https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankyo/hakusyo/h28hkk.html</a></p>

## 基本方針２ 物を替える省エネルギーの推進（ハード面）

### 基本施策

- ① 高効率機器の利用促進
- ② 市施設における高効率機器の率先導入

主な事業	事業実績
防犯灯のLED化	<p>市内の防犯灯について、ESCO 事業を活用した LED 化を平成 27 年度に実施した。</p> <p>本事業では、防犯灯を維持管理する自治・町内会等 176 団体のうち、157 団体から合計 16,001 灯の防犯灯の移管を受けた。この 16,001 灯のうち、9%にあたる 1,489 灯については、既に自治・町内会等で LED 化されたものであり、残る 14,512 灯について LED 型防犯灯への交換工事を平成 27 年 9 月から平成 28 年 2 月末にかけて実施した。</p> <p>平成 28 年度は、上記の防犯灯に加え、自治・町内会等が新設し、市に移管を受けた防犯灯も新たに事業対象として、維持管理を行った。</p>
市施設照明のLED化	<p>本庁舎 1 階フロアの LED 化及び、誘導灯の LED 化については既に終了している。</p> <p>平成 28 度は 2 階フロアの執務室等において、40W 埋め込みタイプの照明器具は LED 照明器具に交換した。また、特殊な照明器具については LED 照明灯に交換した。</p> <p>腰越図書館の高周波蛍光灯を廃し、新たに LED 蛍光灯 21 台を設置した。</p>
市施設の省エネルギー化	<p>新築予定の施設（（仮称）由比ガ浜こどもセンター）に外界からの熱的負荷を抑制するための複層ガラスを使用予定。</p> <p>新築の施設（大船中学校、鎌倉消防署腰越出張所及び腰越地域老人福祉センター）に複層ガラスを使用済み。</p> <p>その他の改修工事の照明に LED 照明を導入済み。</p>
住宅用再生可能エネルギー等・省エネ機器設置費補助事業	<p>平成 28 年度から電気自動車の購入に対しても補助を実施。</p> <p>補助件数：7 件</p>

### 基本方針3 再生可能エネルギー等の導入促進

#### 基本施策

- ① 再生可能エネルギー等の導入促進
- ② 公共施設における再生可能エネルギー等の率先導入

主な事業	事業実績
住宅用再生可能エネルギー等・省エネ機器設置費補助事業	HEMS：30件、太陽光発電：27件、エネファーム：9件、蓄電池：8件の計74件の機器に補助を実施。 補助対象件数：30件
公共施設への再生可能エネルギー等率先導入	新築予定の施設（（仮称）由比ガ浜こどもセンター）に太陽光発電設備（5.4kW）を導入予定。 新築の施設（腰越地域老人福祉センター）に太陽光発電設備（92Wの街灯2基）を導入済み。 新築の施設（大船中学校）に太陽光発電設備（37.8kW）を導入済み。 ソーラー発電システムを用いた換気扇及び照明装置のある防災備蓄庫1ヶ所（稲村ヶ崎小学校）を設置した。 防災行政用無線屋外子局150箇所について、蓄電池を配備し、引き続き運用
未利用エネルギー活用に関する研究	焼却停止後の今泉クリーンセンターの活用等、バイオマス等未利用エネルギー活用に関する情報収集を継続中。
鎌倉市新ごみ焼却施設整備事業	平成27年度に策定した「鎌倉市ごみ焼却施設基本計画」に基づき、新焼却施設の建設に係る調査、検討等を行った。

## 基本方針4 低炭素まちづくりの推進

### 基本施策

- ① 低炭素まちづくりに向けたハード整備
- ② 低炭素都市実現に向けた環境づくり

主な事業	事業実績
鎌倉市都市計画マスタープラン推進事業	平成 27 年 9 月に策定した「鎌倉市都市マスタープラン」に基づき、各課で行う事業に対し助言・指導等を行った。
鎌倉フリー環境手形、パークアンドライドの実施	鎌倉フリー環境手形及びパークアンドライドシステムで使用する手引きの発行や関係交通機関と総合調整をすることで、本施策を着実に運営。
(仮称) 鎌倉ロードプライシングの検討(鎌倉市交通計画検討委員会)	鎌倉地域の交通渋滞の解消に向け、鎌倉市交通計画検討委員会を 2 回、同委員会専門部会を 4 回開催し、地区交通計画の見直し・検討を行うとともに、市民自らがこれまでの自動車交通に関する考え方や利用方法を見直すべきと考え、市民憲章(案)の検討を行った。 また、自動車利用の抑制策(ロードプライシング)の実施に向けた法的な課題や課金方法等を検討する「鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会」及び「鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会幹事会」を 3 回開催し、課題の整理を行った。
歩く観光の推奨	歩く観光について、パンフレット等の作成、ホームページでの情報提供などを実施。

## 基本方針5 「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現

### 基本施策

- ① 廃棄物の発生抑制・再利用・再生利用の促進

基本方針5に関しては、「環境基本計画第4章⑫廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用」の内容を踏襲しています。取り組み実績については、前頁の「第4章⑫廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用」をご覧ください。

## 2 温暖化適応策

目標：地球温暖化に適応する地域社会の礎を創る。

### 基本方針6 地球温暖化への適応

基本施策

#### ① 地球温暖化に適した暮らしの促進

主な事業	事業実績
温暖化による影響とその対策に関する情報提供	HPやSNS（ツイッター）において、温暖化に関する情報や気象情報などの情報提供を実施。
緑地保全事業、緑化推進事業、公園整備事業の推進等によるヒートアイランド対策	特別緑地保全地区の指定 10 地区 約 48.8ha 契約及び指定の継続 緑地保全契約 117 件 53.6ha 保存樹木 67 件 331 本 保存樹林 197 件 249.6ha 保存生け垣 113 件 1.0ha  緑化指導の実施 87 件 まち並みのみどりの奨励事業の実施 12 件 総延長 122.3m 交付額 857,000 円
熱中症等健康被害の防止	ホームページ、SNSより注意喚起を実施（環境省へのリンクの作成）。